

別添2

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別：保育所
事業所名：栗田保育園

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【保育所】内容評価項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点（実施している場合は■）	コメント
A	1 保育内容	(1) 保育課程の編成	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	b)	■ 1 保育課程は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。	[取り組み状況] 法人の理念の礼節・忍耐・誠実を基本に、「心身の健康な子ども」を保育目標に掲げて、明るくのびのびと全身を使って遊び、達成感、充実感を持てるような保育を目指し、また、具体的に育てたい子どもの姿も明記している。 [検討課題] 保育指針の改訂にともなった保育の振りかえりや反省を重ねながら、全職員が関わりを深めて、よりよい保育への改善を期待したい。
					■ 2 保育課程は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。	
					■ 3 保育課程は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。	
■ 4 保育課程は、保育に関わる職員が参画して編成している。						
■ 5 保育課程は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。						
(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b)	■ 6 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を、常に適切な状態に保持している。	[取り組み状況] 1階は未満児室、給食室、ホール、事務室、2階は3歳以上児棟になっており、2階は廊下も広く陽あたりもよく、手洗いは明るく清潔である。 0、1才児の部屋は床暖房で、各部屋には冷暖房の設備も整っている。 また、園庭には花や植物栽培のコンテナプランターが整然と並んでいる。 [検討課題] 一人ひとりの子どもが落ちつけるような室内環境や、保育、養護、教育の各場面における環境設定の工夫が期待される。		
			■ 7 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。			
			■ 8 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。			
■ 9 内装等には、木材を利用している。						
■ 10 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。						
■ 11 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。						
■ 12 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。						
② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b)	■ 13 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。	[取り組み状況] 毎月、個人記録をつけて子どもの発達、家庭環境、生活のリズムなどの把握に努めている。 [検討課題] 一人ひとりの子どもへ、どんな言葉がけをしたら効果が得られるか職員で話し合い、確認・検証を期待したい。 そして、子どもの「なぜ？」という言動に答える際の、子どもに伝わる言葉を身につける勉強会などは必要であろう。			
		■ 14 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。				
		■ 15 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。				
		■ 16 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。				
		□ 17 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。				
		□ 18 せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。				

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
			③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 19 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 20 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 21 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 22 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。 <input type="checkbox"/> 23 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。	<p>[取り組み状況]</p> 年齢毎に食事・排泄・睡眠・着脱・清潔について、保育の計画の中で明記している。 そして、毎日の生活の中で習慣化して身につくように、生活のリズム化に努めている。 <p>[検討課題]</p> 基本的な生活習慣が自立できるような、手立ての計画作成が期待される。 そして、失敗した際に、子どもの心を傷つけないような配慮、援助の工夫も期待したい。
			④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b)	<input type="checkbox"/> 24 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 25 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 26 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 27 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。 <input checked="" type="checkbox"/> 28 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 29 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 30 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 31 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 32 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。 <input type="checkbox"/> 33 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。	<p>[取り組み状況]</p> 近くに公園や公共の場所も多くあり、身体を十分に動かして遊ぶことができる。 また、ポストの清掃、ゴミ拾い、防火の呼び掛けなど、地域に目を向けた積極的な活動の中で、社会のルールが身に付くように努めている。 さらに、駅近くの商業地域の立地を活かし、様々な大人と接する機会も多く設けている。 <p>[検討課題]</p> 子どもの社会貢献活動などにより地域社会の大人が喜んでくれることを伝える機会を設けたり、年齢に応じて、当日の子ども希望による散歩コースとするなど、子どもの主体性に注力した保育士の働き掛けが期待される。
			⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 34 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 35 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 36 子ども表情を大切に、応答的な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 37 0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 38 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 39 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。	<p>[取り組み状況]</p> 陽当たりの良い部屋で、0、1歳児が保育士とゆったりと過ごす姿が確認できる。 また、興味を抱いて手や指で触ったりする保育士考案の手作り玩具も多く、喜んで遊ぶ姿も見える。 連絡帳を通して園での生活、保護者からの家での様子の記入で連携し、子どもの育ちの共有に努めている。 <p>[検討課題]</p> 構造上の問題もあるが、手洗い場所や水道などが室外にあり、十分な衛生上の配慮とともに環境改善への具体的な取り組みが求められる。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
			⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 40 一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。 <input type="checkbox"/> 41 探索活動が十分に行えるような環境を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 42 子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 43 子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 44 保育士等が、友だちとの関わりの中立ちをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 45 様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 46 一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>一人ひとりの子どもに配慮して、家庭と連絡を密にしなが ら保育を行っている。 また、散歩コースもたくさんあり、公園でどんぐり拾いをし たり、駅の階段を登ってみるなどの経験をしている。 そして、散歩の際には保育士とゴミ拾いもしている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>室内でごっこ遊びが可能となるような手作りコーナーを 作ったりと、環境作りに関しての保育士の創意・工夫が更 に期待される。 また、各散歩コースにおける注意事項や、目指す習得 内容をリスト化するなどの取り組みも期待したいところであ る。</p>
			⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 47 3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 48 4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 49 5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 50 子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>3～5歳まで各年齢に応じた保育を行いながら、異年齢との交流保育も取り入れている。 園での子どもの様子は毎日ホワイトボードに記載し、2ヶ月に1回、クラスだよりを発行している。 学びの体験として各年齢毎に、体育・音楽・英会話の専科活動をとり入れ、年長児はipadの活用もある。</p> <p>[検討課題]</p> <p>集団の中で、子どもの個性が更に伸ばせる保育の充実や、各年齢での課題をリスト化するなどして、系統的に組み入れていくと、より良い効果が得られると思われる。</p>
			⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	<input type="checkbox"/> 51 建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 52 障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 53 計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 54 子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 55 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 56 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 57 職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。 <input checked="" type="checkbox"/> 58 保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>支援が必要と思われる子どもには、市の相談員、保健師、コーディネーターが園を訪問して支援会議を開催している。 そして、子どもの園での姿や親の意向も記録し、活かすように努めている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>各種障害に対する理解を深める研修や勉強会を通して園のレベルを上げ、障害のある子どもを課題のある子どもと捉えることで、保育の手立てを工夫できる保育士の活躍が期待される。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
			⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	<input type="checkbox"/> 59 1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。 <input type="checkbox"/> 60 家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 61 子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 62 年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 63 保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 64 子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 65 担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。	<p>[取り組み状況]</p> <p>未満児と以上児は部屋を分けての延長保育を行い、以上児はホールに集合して、出席の確認や絵本の読み聞かせをしてもらい、後は自由に遊んでいる。 そして、18:00以降は未満児と合流して一緒に遊び、18時30分以降は、おやつ・お茶などの補食の提供もある。</p> <p>[検討課題]</p> <p>子どもの状況に応じて、ゆったりと過ごすことのできるような居場所の確保を考慮することも必要と思われる。 そして、延長保育児の名簿の作成だけでなく、その時間をどのように過ごしたのかの延長保育日誌などの記録を残して、日中保育での成長の証や改善事項の把握に活かすなど、新たな取り組みも期待したい。</p>
			⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 66 計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 67 子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。 <input type="checkbox"/> 68 保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。 <input checked="" type="checkbox"/> 69 保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 70 施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。	<p>[取り組み状況]</p> <p>小学校との交流保育を年4回行い、相互の訪問を通して一緒に遊んだり、製作したりして楽しむ機会を設け、交流相手を5年生とするなどの、先を見越した配慮もしている。 また、子どもが関係する校区の小学校への参観や、学校からの保育参観もある。</p> <p>[検討課題]</p> <p>年間計画の中に小学校との連携や、就学に向けての保護者との情報の共有化を明文化することも期待したい。</p>
	(3) 健康管理	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 71 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 72 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 73 子どもの保健に関する計画を作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 74 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。 <input checked="" type="checkbox"/> 75 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 76 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 77 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 78 保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>毎月の体重・身長測定の実施で、健康と発達・発育状況の定期的、継続的な把握に努めている。 そして、保育計画の中に、0～5歳児の発達段階に応じた保育のねらいが3か月ごと、季節に応じて立てられている。 また、園における感染症対応についての情報を配布し、家庭の理解を求める取り組みも確認でき、感染症が発生すると「感染症情報」をおたよりとして発信して注意喚起している。</p> <p>[検討課題]</p> <p>乳幼児突然死症候群の勉強会が年度初めに開かれているものの、全職員の共通認識の更なる深まりを期待したい。 SIDSや窒息のリスク、応急処置に関する知識習得の機会充実と、保護者へのそれらの情報提供、注意喚起は専門職としての務めと意識したい。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
		② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b)	■	79 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。	[取り組み状況] 年2回の内科検診・歯科検診・視力検査(4、5歳児)が実施され、結果は記録し、保護者に伝えている。歯科検診等で治療が必要な場合は、治療が行われたか、また、その結果も確認している。食後の歯磨きは保育士も一緒に行っている。 [検討課題] 歯磨きが正しく行われているか確認をするなど、各検査結果に異常がみられる子どもに対しては個別計画に盛り込み保護者と協力して、子ども自身が健康管理を意識できる取り組みが期待される。
	■			80 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。		
	■	81 家庭での生活に生かされ保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。				
		③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b)	■	82 アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。	[取り組み状況] 入園前に食物アレルギーの有無を確認し、アレルギー疾患のある子どもは医師の診断を受け、指示書のもとに、栄養士、保護者との面談を行い、他職員とも情報の共有に努め、誤配のないように注意を払っている。 [検討課題] アレルギー疾患、慢性疾患等に関する学習会を開き、全保育士が共通の理解を更に深めていくことが期待される。併せて、好奇心旺盛な他の子ども達への統一した説明について、園の規定やその周知による意思統一は必要であろう。
	■			83 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。		
	■			84 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。		
	■			85 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。		
	■			86 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。		
	■			87 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。		
	(4) 食事	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b)	■	88 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。	[取り組み状況] 発達段階に応じた食育、食に関する取り組みが計画の中に位置づけられ、園庭に置かれたコンテナやプランターで野菜を育て、子ども達が生長に関心を持ち、収穫したものを感謝して食べられるような取組が行われている。 玄関にはサンプルケースを置き、提供した給食を展示している。 [検討課題] 子どもの食生活の基盤は家庭にあり、望ましい食習慣の形成や食への意欲を高めるため、給食サンプルや献立表だけでなく、食育たより等の発行による、保護者との連携を更に深める新たな取り組みなども期待したいところである。
	■			89 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。		
	■			90 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。		
	■			91 食器の材質や形などに配慮している。		
	■			92 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。		
	■			93 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。		
	■			94 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。		
	■	95 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。				

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
			② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 96 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。 ■ 97 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。 ■ 98 食事の内容は、県産の農畜産物等を利用したものとしている。 ■ 99 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。 ■ 100 季節感のある献立となるよう配慮している。 ■ 101 地域の食文化や行事食などを取り入れている。 ■ 102 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。 ■ 103 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>一人ひとりの食べる量、好き嫌いを把握し、保育士が食べられる量を盛り付けし、嫌いな物も食べられるよう、また、楽しく食べられるように声掛けをしている。</p> <p>季節や行事に合わせた献立が提供され、夏には流しそうめん、秋には焼いも大会、冬には餅つきを体験する機会もあり、食育の日にはお弁当作り、クッキー作り、ニラせんべい作りと調理経験も設けている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>食事マナーや配膳方法、箸の使い方など、保護者と連携しての正しい方法についての習得支援についての見直しや検討が期待される。</p> <p>そして、就学を意識した20分での完食や、それが困難な子どもへの個別計画への落とし込みとその実践など、さらに工夫した関わり方も期待したい。</p>
	2 子育て支援	(1) 家庭との緊密な連携	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 104 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。 ■ 105 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。 ■ 106 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。 ■ 107 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>未満児は、玄関のホワイトボードと連絡ノートにより保護者と情報の交換を行い、以上児はホワイトボードに一日の活動が細かく書かれており、連絡ノートでの交換は行っていない。</p> <p>毎月の園だよりでは各クラスのねらい、園全体の取り組みを知らせ、月1回配布のクラスだよりでは保護者参加の保育参観、夏祭り、運動会、クリスマス発表会等の行事連絡を行い、行事後は写真配信、ホームページでの情報発信をしている。</p> <p>また、個人懇談や保護者アンケートで意向や要望を把握する機会もある。</p> <p>[検討課題]</p>
		(2) 保護者等の支援	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 108 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。 ■ 109 保護者等からの相談に応じる体制がある。 ■ 110 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。 ■ 111 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。 ■ 112 相談内容を適切に記録している。 ■ 113 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。 	<p>日々の活動の記録や連絡はホワイトボードを通して保護者に知らせており、連絡不十分や見た・見ていないなどの連絡トラブルを防ぐ検討など、記録を意識した見直しを期待したい。</p> <p>利用者調査においての属性では、父・母とも常勤者が多数を占めており、また、園長を除いた保育士の年齢を上回る保護者像が浮かび上がっている。</p> <p>そのため、面接相談の体制やそのマニュアル等の充実、また、相談・援助技術の習得・向上も必要であろう。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
			② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。		<ul style="list-style-type: none"> ■ 114 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。 ■ 115 虐待等権利侵害の可能性がある職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。 ■ 116 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。 b) <ul style="list-style-type: none"> ■ 117 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。 ■ 118 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。 □ 119 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。 □ 120 マニュアルにもとづく職員研修を実施している。 	<p>[取り組み状況] 虐待等権利侵害の兆候を見逃さない様に努めている。児童相談所等との関係機関の情報交換、協力の関係はできており、その際の対応がスムーズになされたこともある。</p> <p>[検討課題] 昨今痛ましい事案も増えており、虐待の芽チェックリストの作成・活用や対応マニュアルの更なる整備を進め、マニュアルに基づく実践研修などで、疑いから行政・児童相談所との通報について、全職員の理解を深める取り組みを期待したい。 また、園内での具体的な虐待にはどのようなものがあるのかなど、職員の意識を更に深める新たな取り組みも必要であろう。</p>
	3 保育の質の向上	(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。		<ul style="list-style-type: none"> ■ 121 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。 ■ 122 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。 ■ 123 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。 b) <ul style="list-style-type: none"> □ 124 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。 □ 125 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。 □ 126 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。 	<p>[取り組み状況] 年間指導計画、月案、週案の項目に自己評価の欄が設けられており、保育の反省の記録としている。</p> <p>[検討課題] 年度末の保育士の振り返り表や年間指導計画や月案の自己評価など、それらを次のステップへ活用する職員間での話し合いや共有化を図る取り組みの機会を増やすなど、継続的・組織的に次の保育への改善を図ることで、園全体の保育の質の向上につながると理解したい。</p>